

3

動植物に係る調査結果

3-1

陸生動物

3-1-1 特筆すべき動物

特筆すべき動物の調査はいずれも最終処分場区域内及びその周辺で実施し、結果は表 3-1 に示したとおりです。

表 3-1 特筆すべき動物の調査対象種、調査時期及び調査結果

分 類	種 名	調査時期	調査結果
鳥 類	チュウサギ	平成 28 年 7 月 11 日	確認できませんでした
	オオタカ	平成 28 年 4 月 20 日 平成 29 年 1 月 16 日	平成 29 年 3 月調査時に、最終処分場西側斜面上空を北へ飛翔する 1 個体を確認しました
	ハイタカ	平成 29 年 2 月 6 日 平成 29 年 3 月 14 日	平成 28 年 4 月調査時に、最終処分場南側の造成緑地付近で旋回する 1 個体を確認しました
	フクロウ	平成 28 年 4 月 19 日 平成 29 年 1 月 26 日 平成 29 年 2 月 13 日 平成 29 年 3 月 13 日	確認できませんでした
	サンショウクイ	平成 28 年 7 月 11 日	確認できませんでした
	コチドリ		
	キビタキ		
	タゲリ	平成 29 年 1 月 16 日	確認できませんでした
両生類	アカハライモリ	平成 28 年 10 月 7 日	確認できませんでした
爬虫類	ニホンイシガメ		同日実施した特筆すべき水生生物の調査時に、最終処分場を流れる天白川の下流で 1 個体を確認しました
昆虫類	ムカシヤンマ	平成 28 年 5 月 18 日	最終処分場西側の残存緑地の林縁部で 2 個体を確認しました
	オオクワガタ	平成 28 年 8 月 2 日	確認できませんでした
	ミカドガガンボ	平成 28 年 5 月 18 日 平成 28 年 8 月 2 日	
	アオメアブ	平成 28 年 8 月 2 日	最終処分場東側の造成緑地で 1 個体を確認しました
クモ類	コガネグモ	平成 28 年 5 月 18 日 平成 28 年 8 月 2 日	8 月調査時に、最終処分場北側の残存緑地で 1 個体を確認しました
	アシナガカニグモ		確認できませんでした

3-2**水生生物****3-2-1 特筆すべき水生生物**

特筆すべき水生生物の調査は最終処分場区域内及びその周辺の 7 地点で実施し、結果は表 3-2 に示したとおりです。

表 3-2 特筆すべき水生生物の調査対象種、調査時期及び調査結果

種 名	調査時期	調査結果
ヒラマキミズマイマイ	平成 28 年 10 月 7 日	確認できませんでした
ヒラマキガイモドキ		1 地点で生息を確認しました
ナガオカモノアラガイ		1 地点で生息を確認しました
マシジミ		7 地点で生息を確認しました
ドブシジミ		2 地点で生息を確認しました
コオイムシ		確認できませんでした

3-2-2 水生生物（淡水魚類）

最終処分場区域内を流れる天白川（P. 1、P. 2、P. 3 の調査地点）において淡水魚類調査を平成 28 年 5 月 23 日（春季）、8 月 3 日（夏季）、11 月 2 日（秋季）、平成 29 年 2 月 1 日（冬季）に実施し、結果は表 3-3 に示したとおりです。

今回の調査結果を昨年度（表 3-4 参照）の結果と比較すると、昨年度確認したタモロコが今回の調査では確認されず、出現種数は 4 種と昨年度（5 種）よりやや少ない結果となりました。

表 3-3(1) 淡水魚類調査結果（平成 28 年度）

調査方法	種 名	春季(H28. 5. 23)			夏季(H28. 8. 3)		
		調査地点					
		P. 1	P. 2	P. 3	P. 1	P. 2	P. 3
カゴ網	カワムツ	捕獲なし			4	捕獲なし	
	オイカワ		1				
	カワヨシノボリ		1	1			
	メダカ			1			
	種 数		2	2	1		
	個体数		2	2	4		
セルビン	オイカワ	捕獲なし	1	2		1	1
	カワヨシノボリ			4	1		
	種 数		1	2	1	1	1
	個体数		1	6	1	1	1
タモ網	カワムツ		○				○
	オイカワ	○		○			○
	カワヨシノボリ	○	○	○	○	○	○
	種 数	2	2	2	1	1	3

注：タモ網による捕獲個体数は、その作業量に比例して多くなるため、種類のみの確認とした。

表 3-3(2) 淡水魚類調査結果（平成 28 年度）

調査方法	種 名	秋季 (H28. 11. 2)			冬季 (H29. 2. 1)		
		調査地点					
		P. 1	P. 2	P. 3	P. 1	P. 2	P. 3
カゴ網	オイカワ	5	捕獲なし		捕獲なし		13
	カワヨシノボリ						1
	種 数	1					2
	個体数	5					14
セルビン	オイカワ	捕獲なし	4		捕獲なし	1	
	カワヨシノボリ			4			
	種 数		1	1		1	
	個体数		4	4		1	
タモ網	オイカワ		○	○	○		○
	カワヨシノボリ	○	○	○	○	○	○
	メダカ			○			
	種 数	1	2	3	2	1	2

注：タモ網による捕獲個体数は、その作業量に比例して多くなるため、種類のみの確認とした。

表 3-4(1) 淡水魚類調査結果（参考：平成 27 年度）

調査方法	種 名	春季 (H27. 5. 22)			夏季 (H27. 8. 5)			
		調査地点						
		P. 1	P. 2	P. 3	P. 1	P. 2	P. 3	
カゴ網	カワムツ	4	1		捕獲なし	4		
	タモロコ						2	
	メダカ			1				
	種 数	1	1	1		1	1	
	個体数	4	1	1		4	2	
セルビン	カワヨシノボリ	捕獲なし			1	捕獲なし		2
	種 数				1			1
	個体数				1			2
タモ網	オイカワ		○				○	
	カワムツ	○	○	○		○		
	タモロコ						○	
	カワヨシノボリ	○	○	○	○	○	○	
	種 数	2	3	2	1	2	3	

注：タモ網による捕獲個体数は、その作業量に比例して多くなるため、種類のみの確認とした。

表 3-4(2) 淡水魚類調査結果（参考：平成 27 年度）

調査方法	種 名	秋季(H27. 11. 4)			冬季(H28. 2. 3)		
		調査地点					
		P. 1	P. 1	P. 2	P. 1	P. 1	P. 2
カゴ網	種 数	捕獲なし			捕獲なし		
	個体数						
セルビン	オイカワ	捕獲なし	1		捕獲なし		
	カワヨシノボリ			1			
	種 数		1	1			
	個体数		1	1			
タモ網	オイカワ		○	○			
	カワムツ	○	○	○	○	○	○
	メダカ			○			
	カワヨシノボリ	○	○	○	○	○	○
	種 数	2	3	4	2	2	2

注：タモ網による捕獲個体数は、その作業量に比例して多くなるため、種類のみの確認とした。

3-3-1 植物相

最終処分場の供用に伴い、最終処分場区域内に回復緑地として整備した緑地の状況及び残存緑地とした区域の状況を把握するため、平成 28 年 6 月 2 日に実施しました。

本調査は施設供用後より事業の実施期間中、継続して監視するもので、今回は 4 年目の調査になります。

その結果、回復緑地については、昨年度と概ね同様の傾向であり、生育状況の悪い個体がやや多くみられましたが、一部では順調に生育する個体もみられました。一方、残存緑地については、各植物種は概ね良好な生育状況であり、林縁部に多様な先駆樹がみられるとともに、その下層ではアラカシ等の稚樹が多数生育しており、緑地の回復傾向がみられました。

調査は次年度以降も継続し、植物相の変化を監視していくこととします。